

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年9月6日】第93号



新学期がスタート

9月1日(水)、2学期が始まりました。本校では開校時から始業式や終業式はすべて、体育館などに集まることはせず、校内テレビを教室で視聴するスタイルです。この日も、各教室で校長講話を聞いた後、声を出さずに校歌「東京農業大学稲花小学校の歌」を聴いて新学期のはじまりとなりました。

新型コロナウイルスの蔓延が収まらず、新学期をどのようにスタートするか、本校でも慎重な検討を重ねてきました。本校は新設校であり、まだ3年生までしか児童がいません、すなわち予定する総定員の半数の児童数のみ在籍し、空き教室もある状態です。広範囲に居住する児童の通学の手段も様々であり、通学時の安全を確保するためには、通学時間の大幅な変更などにより児童が混乱しないようにする必要があります。屋上に設置され校舎内の空気の流れをつくる風向板や各教室にある2方向の開口部による十分な換気をはじめ、手指消毒、給食の黙食などの実践については1学期までに経験を積み重ねてきました。新学期もこれらの防止策を確実に行うことを前提として、状況の許す限り平常通り授業を行うという選択をいたしました。当然ながら、新型コロナウイルス感染防止を第一とし、登校に不安のある児童はお休みすることができます。また、少しでも体調不良があれば自宅に留まることとし、登校後に体調不良を訴える場合は、発熱の有無にかかわらず保護者にお迎え要請をして早退を促す方針です。

夏休み中から、新学期における新型コロナウイルス感染防止措置についてのご説明を保護者の皆様に複数回、学内HP(在校生メニュー)でお伝えしてきました。始業式の前日にも改めて、通学の公共交通機関でのおしゃべりを絶対にしないこと、ウレタンマスクではなく不織布マスクとすることなどの指導を、保護者にお願しました。始業式に子どもたちが、正しくマスクを着用して登校してきたこと、先生方の指示に従って静かに、素早く行動していることを、うれしく思っています。

久しぶりに会った友だちや先生方と、どんなに楽しくおしゃべりしたかったことでしょうか。子どもたちの我慢がわかるだけに、心の痛むところもあります。しかし、1～3年生の子どもたちの学びは、教員から一方的に話を聞いたり、一人で教科書を読んだりドリルをしたりしながら学ぶだけのものではありません。子どもたち同士の学びあい大切です。また、低学年から中学年にかかる時期は、学校生活を通して社会性を養うとくに大切な時期ではないでしょうか。

そのことから、感染防止を第一に、感染のリスクがあれば躊躇することなく必要な対策をとることとして、登校しての新学期が始まりました。本校では昨年の一斉臨時休業(休校)以来、録画動画を含む教材の配信やオンライン(Zoom)による学級会、英語授業、保護者会などを行ってきました。さらにオンライン(Zoom)による授業参観では、リアルタイムでの授業配信を行っており、保護者の皆様にもご対応いただきました。これらの積み重ねをも踏まえ、今後も、子どもたちにとって最良な対応をしてまいります。

どんな2学期にしようかな

夏休みには、たくさんの楽しい思い出ができたことでしょう。始業式の校長講話では、楽しかったことだけではなく、夏休みに自分の得意なことに思う存分取り組んだか、苦手なことに挑戦したか、休養をしっかりととり、体力をつけるようにしたかななどを振り返りました。また、新型コロナウイルスに感染した知り合いや家族のいる児童も増えている現状から、感染した人たちへの思いやりを持つことにも、心を向けました。さらに、新型コロナウイルスから社会を守るために働いておられる様々な方々への感謝と同時に、自らが感染防止に努めることが人々のために役立つ立派な行動になるという点にも目を向けました。様々な制限のある中、子どもたちがそれぞれの目標をもって、心身共に健やかに2学期を過ごすことを願っています。

帰ってきたアサガオ

東京パラリンピック競技大会トライアスロン会場に15日間飾られていたアサガオが、9月3日(金)、本校に戻ってきました。本校の2年生が「フラワーレーンプロジェクト」に参加し、丹精したアサガオ90鉢(予備含む)です。葉っぱはやや弱っていましたが、花はまだまだたくさん咲いており、子どもたちが頑張って丈夫な苗を作ったよい結果がでていると思いました。

帰ってきたアサガオを見ると、夏休みの終わりも実感されます。本校では教職員もしっかりと夏休みをとり、新学期に向けて英気を養い、それぞれが自己研鑽にも努めました。一方、夏休み中の植物管理をしてくれた職員、校内の設備を点検し安全を守ってくれた専門家や警備員の皆さん、新学期を前に学校をきれいにしてくれた清掃会社の皆さん、給食の提供のために点検してくれた共立メンテナンスの皆さん、子どもたちを安全に楽しく過ごさせてくれたアフタースクールのスタッフの皆さん…と新学期が無事に迎えられるように様々な方々の助けがあったことを忘れてはいけません。子どもたちとともに、感謝したいと思います。

また、夏休みにかわいらしい暑中見舞いや残暑見舞いをくれた子どもたちには、この場を借りて教職員からのありがとうの言葉を伝えさせていただきます。なお、頂いたお葉書に対して個別にお返事を出しておりませんが、学校の方針としてご了承ください。

フラワーレーンプロジェクト

<https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/participation/support01.html>



2022年度入学試験に向けて

9月10日(金)夕方に1回および9月11日(土)午前中に2回、合計3回の年長対象入試説明会(オンライン)を行います。いよいよ入学試験のシーズンです。新型コロナウイルスの蔓延もあり、十分に本校の様子をご覧いただくことができない中での入試です。本校の児童や保護者の皆様には、それぞれが農大稲花小の代表であるという自覚をもっていただければありがたく、また、お子様の受験をお考えの保護者の皆様には、本校の教育の理念などを学校ホームページなどでできる限りご理解の上、受験していただければと思います。

創立記念日

9月5日は、本校の「創立記念日」です。東京都への学校設置認可申請から約2年の歳月を経て、2018年9月5日に設置が認可されました。そこで、この日を、本校の創立記念日と定めています。本校ではこの設置認可に続き、入学試験を実施し、2019年4月に第一期生を迎えました。間もなく第四期生を迎えるための入学試験がはじまることには、感慨深いものがあります。

農大稲花小は新しい小学校です。日々、たくさんの方々からの応援をいただきながら、児童、保護者、教職員がその歴史を作っていることを実感します。創立記念日にあたり、校長としても、この新しい学校を作る責務を全うする決意を新たにしました。

校長 夏秋 啓子